



環境省 九州地方環境事務所

◆業務概要◆

九州地方環境事務所は、環境省の地方支分部局の一つで、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の8県を管轄している管区機関です。

九州地方環境事務所（地域脱炭素創生室、総務課、資源循環課、環境対策課、国立公園課、自然環境整備課、野生生物課）を熊本市に設置し、那覇市に沖縄奄美自然環境事務所、九州・沖縄地方の管内に国立公園管理事務所及び自然保護官事務所等を設置しています。

関係機関と連携しつつ、脱炭素や地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策、環境教育・環境保全活動の推進、公害・化学物質対策、自然環境の保全、国立公園等の利用と管理、野生生物の保護管理、自然環境保全のための施設整備など様々な施策を展開しております。（管内定員数 115 名（2022 年度末職員数））



◆勤務地・転勤・昇進◆

これまでは環境本省（東京都）で一括採用後、本省のほか他省庁、国立研究開発法人等及び全国8カ所の地方環境事務所への配属・転勤を行っていましたが、令和6年度から当地方環境事務所での採用（地方採用）を行うこととなりました。

地方採用は、一般職（大卒程度）の行政九州及び全ての技術系区分であり、勤務地及び配属先は熊本の地域脱炭素創生室、総務課、資源循環課、環境対策課となります。なお、キャリアパスの観点で、一定期間の本省及び沖縄奄美自然環境事務所等勤務を予定しています。

本人の能力と業績等に応じて、係長級、課長補佐級、企画官・課室長級とステップアップしていきます。

◆先輩からのメッセージ◆

九州地方環境事務所（熊本）で、自治体向け脱炭素関係交付金の手続きや自治体からの相談・質問への対応をしています。写真の意見交換会では、準備や司会は大変でしたが、事例紹介や課題共有を通じ自治体の事業推進の後押しができたと思います。また、環境省では、今年度から地方採用も始まり、事務系の職種は、主に熊本勤務のため、豊かな自然と生活環境も良く、働きやすさを感じます。

【2023 年度入省 選考採用（総務課・地域脱炭素創生室併任）】



九州・沖縄交付金担当者意見交換会
（司会の様子です）



国立公園の管理を通じて、美しい自然を後世まで残したいと思い、環境省に入りました。

現在は、屋久島において、行政機関や住民の方々など多様な主体と連携しながら、国立公園の管理や希少種保全などの仕事をしています。現場に出て、自然や人と関わりながら仕事がしたいと考えている方におすすめです！

【2022 年度入省 一般職（大卒）林学】

◆所在地◆

〒860-0047 熊本県熊本市西区春日 2-10-1 熊本地方合同庁舎 B 棟 4 階

九州地方環境事務所ホームページ：<http://kyushu.env.go.jp/>

採用手続きに関する問い合わせ（環境省採用情報）：<http://www.env.go.jp/guide/saiyo/>